

平成十八年十一月七日受領  
答弁第一二二六号

内閣衆質一六五第一二六号

平成十八年十一月七日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

衆議院議長 河野 洋 平 殿

衆議院議員鈴木宗男君提出歴史認識に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員鈴木宗男君提出歴史認識に関する質問に対する答弁書

一及び二について

一般に、歴史認識についての確立した定義があるとは承知していないが、歴史的な事象に対する評価との関係については、歴史的な事象に対して一定の判断を行うという意味において、大きな相違があるとは考えていない。

三及び四について

お尋ねの発言は、川口順子外務大臣（当時）が外務大臣としての考えを述べたものである。

五について

お尋ねの発言は、歴史を直視し、未来に向かうという日中双方の共通の認識を述べたものである。

六について

お尋ねの発言は、日中関係の在り方についての認識を述べたものであつて、歴史的な事象に対する評価として述べたものではない。